

平成14年度全国教育研究所連盟「教育課題等研究協議会」

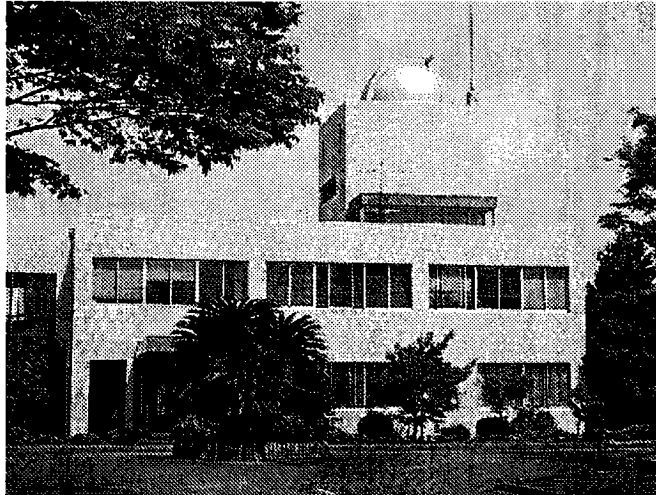
第4分科会 「環境教育」

『環境教育の研修における公的機関との連携』

三重県教育委員会事務局研修分野(三重県総合教育センター)

渡辺 祐治

環境教育の研修における公的機関との連携



三重県教育委員会事務局研修分野(総合教育センター)
渡辺 祐治

公的機関との連携の背景と経緯

1. 学校における環境教育を取り巻く状況の変化
2. 総合教育センターの組織改編と研修の一元化
3. 三重県環境学習情報センターの役割と課題

学校における環境教育を取り巻く状況の変化

1. 学校教育における環境教育の改善・充実

「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」

第15期中央教育審議会第1次答申(1996年7月)

- ・「環境から学ぶ」……体験活動を通して自然に対する豊かな感受性や環境に対する関心を培う
- ・「環境について学ぶ」……環境や自然と人間の関わりなどの理解を深める
- ・「環境のために学ぶ」……環境保全や環境の創造を具体的に実践する態度を身につける

2. 環境教育の多面性と多様性

- ・自然環境……自然界の平衡、循環、地球システム、資源・エネルギーなど
- ・社会環境……経済、社会システム、ゴミ問題、地域、人口、開発など
- ・文化環境……環境倫理、歴史・文化、食文化、生活・習慣など

3. 総合的な学習の時間の創設

- ・環境教育の特色は総合的・横断的＝総合的な学習の時間の趣旨

公的機関との連携の背景と経緯

1. 学校における環境教育を取り巻く状況の変化

2. 総合教育センターの組織改編と研修の一元化

3. 三重県環境学習情報センターの役割と課題

総合教育センターの組織改編と研修の一元化

1. 組織改編による専門知識を有する担当者の不足

(6部制:教科、領域別編成)

- ・教職研修部
- ・教科研修部
- ・科学技術教育部
- ・情報教育部
- ・障害児教育・相談部
- ・総務部

(平成12年度)



(3部制:事業別編成)

- ・企画振興部
- ・教職員研修部
- ・教育サービス部

2. 環境教育に関する研修講座の数の確保と内容の充実

- ・悉皆研修(初任者研修、経験者研修など)の移管による講座の精選
3講座(平成11年度) → 1講座(平成12年度)

公的機関との連携の背景と経緯

1. 学校における環境教育を取り巻く状況の変化
2. 総合教育センターの組織改編と研修の一元化
3. 三重県環境学習情報センターの役割と課題

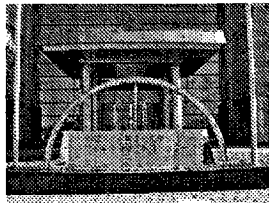
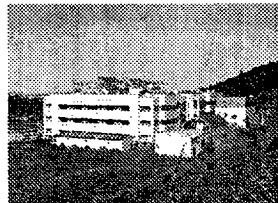
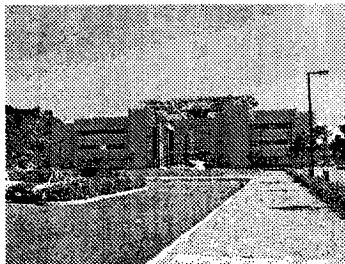
三重県環境学習情報センターの役割と課題

1. 三重県環境学習情報センターとは

- ・県民に開かれた環境教育・学習、情報受発信の拠点として、平成11年度に開設した公的機関

【主な事業】

- ・環境情報の展示
- ・環境教材の開発
- ・環境研修・講座・実習の実施
- ・インターネット等による環境情報の提供



三重県環境学習情報センターの役割と課題

2. 三重県環境学習情報センターの課題

- ・環境問題に対する県民の知識や関心を高める



- ・学校の教職員に対する研修が重要であるという認識



- ・研修講座を企画したが、教職員の参加希望者が少ない

【理由】

- ・教職員への講座のPR不足
- ・自主研修という形での参加

環境教育に関する研修講座の連携の形態

	総合教育センター	環境学習情報センター
企画・立案	◎	○
講師の選定	○	◎
講座運営の費用	—	◎
受講者の処理	◎	—
旅費の令達	◎	—

環境教育に関する研修講座の連携の状況

研修種別	研修の観点	備考
スキルアップ研修	環境から学ぶ	希望研修
初任者研修	環境問題の理解	悉皆研修
教職経験者11年目研修	環境から学ぶ 環境について学ぶ 環境のために学ぶ	悉皆研修
自主課題研修 (概ね15年程度)	環境のために学ぶ	希望研修

環境教育に関する連携講座の内容

講座名	スキルアップ研修「環境教育の進め方と環境学習プログラム」
定員	40名
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自然体験型環境学習の手法を、体験を通して理解する ・自然体験活動を行う際の安全管理について理解する
内容	<p>【午前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義「自然体験型環境学習とは」 ・ネイチャーゲームなどの五感を使った環境学習プログラム体験 <p>【午後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトワイルドなどの生態系を理解するプログラム体験 ・講義「自然体験活動を安全に実施するために」
備考	三重県環境学習情報センターで実施

環境教育に関する連携講座の内容

講座名	第4回 教職経験者11年目研修「環境教育」
対象者	約400名
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な環境問題の解決策についてグループで検証する ・受講者の興味・関心にあわせて4テーマの分科会を行う
内容	<p>【午前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な環境問題について受講者自らが問題解決の方策を考え、その有効性、取り組みやすさをなどをグループで検証する。 <p>【午後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1分科会「地球温暖化防止に向けた実践講座」 ・第2分科会「タウンウォッチングーそこから見える環境問題ー」 ・第3分科会「世界の環境教育」 ・第4分科会「鳥を通してみる自然(生態系、種の多様性)」
備考	受講対象者を約100名ずつに分け、4会場で繰り返し実施する

環境教育に関する連携講座の内容

講座名	第7回 自主課題研修(概ね15年程度)「環境教育」
対象者	20～40名
ねらい	・ゴミ問題と資源のリサイクルの現状を施設見学から学ぶ ・持続可能な社会をつくるために自分ができることを考える
内容	【午前】 ・ゴミの埋立処分場とペットボトルのリサイクル工場の見学 【午後】 ・施設見学をして得たことの見聞交換 ・講義「今なぜ循環なのか？」 ・参加型ワークショップ 持続可能な社会をつくるために、私にできることを探る
備考	三重県総合教育センターで実施

公的機関との連携における今後の課題

1. 受講者のアンケートによる連携講座の分析
2. 環境教育に関する学習内容の体系化と教職員のライフステージにあわせた研修の企画
3. 各地の地域環境の利用およびNPOの活用を取り入れた環境教育に関する研修の実施

